

生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

【研究課題名】	小児急性巣状細菌性腎炎（AFBN）の診断における単純 MRI の有用性について：単施設後ろ向き観察研究		
1. 研究の目的と方法	急性巣状細菌性腎炎（AFBN）は、子どもに多くみられる腎臓の感染症で、通常の尿路感染症と症状が似ているため、診断が難しいことがあります。放射線を使わない単純 MRI 検査（以下 MRI）は、AFBN の診断に役立つ可能性があります。小児における有用性はまだ十分に明らかになっていません。 この研究では、MRI の有用性を明らかにし、より安全で正確な診断方法につなげることを目的として、過去に東京慈恵会医科大学葛飾医療センターに入院され、腹部超音波検査（以下、超音波検査）と MRI を受けられた尿路感染症のお子さんの診療記録をもとに、症状や検査結果、画像検査の所見などの情報をさかのぼって収集・分析します。具体的には、超音波検査で診断できなかった AFBN が MRI でどのくらい診断されたかを調べ、MRI が有効と考えられる患者さんの特徴を明らかにします。		
2. 研究期間	倫理委員会承認日～2030年3月31日まで、研究の実施を予定しています。		
3. 対象となる方等	2021年4月1日から2026年2月28日までの期間に、東京慈恵会医科大学葛飾医療センターに入院し、腹部超音波検査と MRI を受けた、尿路感染症の18歳未満の患者さん		
4. 研究に利用する試料・情報について	(1) 試料の種類	試料は使用しません。	
	(2) 試料の取得の方法	試料は使用しないため、該当しません。	
	(3) 情報の種類	年齢、性別、体重・身長、病名などの疾患情報、症状の詳細、治療の内容、診断・入院時・検査前後の血液検査の結果、超音波検査・腹部 CT・MRI などの画像検査の結果	
	(4) 情報の取得の方法	診療録から診療時のデータを収集します。	
5. 研究の実施体制	あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 試料・情報は、(3)の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。		
	(1) 当施設の 研究責任者 または研究 代表者	研究機関名	東京慈恵会医科大学葛飾医療センター 小児科
		氏名	樋渡 友菜
	(2) 当施設の長	東京慈恵会医科大学 学長 松藤千弥	
	(3) 当施設の 試料・情報の 管理責任者	東京慈恵会医科大学葛飾医療センター 小児科 高島典子	
(4) 共同で研究 を実施する	この研究では共同で研究を実施する機関はありません。		

	施設とその 責任者	
6. 試料・情報を他機関とやり取りすることについて	この研究では、外部の機関と試料・情報をやり取りすることはありません。 試料・情報の利用開始予定日：2025年9月末頃～	
【問い合わせ先】	機関名：東京慈恵会医科大学葛飾医療センター 小児科 研究責任者：後期研修医 樋渡 友菜（ひわたり ゆうな） 電話番号：0570-009-119（ナビダイヤル） 担当：小児科 対応時間：平日9：00 ～ 17：00	

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。
研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。